

アンデルセン—生誕 200 周年—

Han Christian Andersen

あなたは知っていますか？ハンス・クリスチャン・アンデルセンを。アンデルセンはデンマークの童話作家として有名ですが、童話の他にも様々な作品を書いています。詩、小説、劇、旅行記、自伝。彼が最初に描きかけたのはロマン小説であって物語ではなかったそうです。様々な過程を経てアンデルセンは童話作家となりましたが、彼の童話には彼の人生、恋愛、その他多くの経験が数多く影響しているようです。彼の作品を簡単にあげれば「マッチ売りの少女」「人魚姫」「はだかの王様」「みにくいアヒルの子」等々、これらを聞いたことがないという人を見つける方が大変ではないでしょうか。

童話は子供向けというイメージですが、大人になった今、もう一度読み返してみると子供の頃とは違った感動が得られるのではないのでしょうか。事実、アンデルセンは途中で「子供のための童話集」から「物語集」「童話と物語の新集」と表題を変更して出版しています。

夏の暑いこの季節、一息ついて懐かしい記憶とともに新しい発見をしてみたいかがでしょうか？

平成 17 年 8 月—9 月 学習院大学図書館

《アンデルセン作品年譜（童話・小説）》

1805 年		デンマークのオーデンセに生まれる。
1829 年	24 歳	紀行「徒歩旅行」自費出版。
1831 年	26 歳	紀行「影絵」を出版。
1835 年	30 歳	小説「即興詩人」出版。 「子どものための童話集Ⅰ」出版。 (収録作)「火うちばこ」「小クラウスと大クラウス」ほか 「子どものための童話集Ⅱ」出版。
1836 年	31 歳	小説「O・T」出版。
1837 年	32 歳	小説「ただのヴァイオリン弾き」出版。 「子どものための童話集Ⅲ」出版。
1838 年	33 歳	「子どものための童話新集Ⅰ」出版。 (収録作)「ヒナギク」「しっかり者の錫の兵隊」ほか
1839 年	34 歳	小説「絵のない絵本」出版。 「子どものための童話新集Ⅱ」出版。
1842 年	37 歳	紀行「一詩人のバザール」出版。 「子どものための童話新集Ⅲ」出版。
1843 年	38 歳	「新童話集」第一巻第一集出版。 (収録作)「ナイチンゲール」「みにくいアヒルの子」ほか
1844 年	39 歳	「新童話集」第一巻第二集出版。
1845 年	40 歳	「新童話集」第一巻第三集出版。
1847 年	42 歳	自伝「わが生涯の物語」出版。 「新童話集」第二巻第一集出版。
1848 年	43 歳	「新童話集」第二巻第二集出版。 小説「二人の男爵夫人」を出版。
1849 年	44 歳	ヴィルヘルム・ペデンセン挿絵入り豪華版童話全集出版。
1850 年	45 歳	「物語集」出版 (収録作)「亜麻」「幸福の長靴」
1851 年	46 歳	紀行「スウェーデンにて」出版。

☆キーワード① “アンデルセン” と “アナセン” ☆—————**
“アンデルセン” という発音は日本のみでアンデルセンの母国デンマークでは “アナセン” または “アネルセン” と発音するそうです。デンマーク語ではしばしば d が発音されないことから、ちょうど Andersen という彼の姓のところで生じたそうです。

**—————☆☆

《展示資料一覧》

1852年	47歳	「物語集」第一集出版。 (収録作)「最後の日に」「上きげん」
1853年	48歳	「物語集」第二集出版。
1855年	49歳	自伝「わが生涯の物語」を増補訂正して出版。 挿絵入り物語集出版。
1857年	53歳	小説「生きるか死ぬか」出版。
1858年	54歳	「童話と物語の新集」第一巻第一集 (収録作)「ソーセージの串で作ったスープ」「ボトルネック」ほか 「童話と物語の新集」第一巻第二集
1860年	56歳	「童話と物語Ⅰ」 (収録作)「パンを踏んだ娘」「ペンとインク壺」ほか
1861年	57歳	「童話と物語の新集」第二巻第一集 「童話と物語の新集」第二巻第二集
1863年	58歳	紀行文「スペイン紀行」を出版。
1865年	60歳	「童話と物語の新集」第二巻第三集 「童話と物語の新集」第二巻第四集
1867年	62歳	オーデンセの名誉市民に選ばれる。
1868年	63歳	「ポルトガル紀行」を出版。 「三つの童話と物語新集」出版。 (収録作)「ティーポット」「ニッセと奥さん」ほか
1870年	65歳	小説「幸福なペーア」出版。
1872年	67歳	「童話と物語の新集」第三巻第一集 「童話と物語の新集」第三巻第二集
1875年	70歳	8月4日、永眠。

☆童話作品☆

1. アンデルセン童話集：完訳／アンデルセン著 大畑末吉訳 岩波書店 1984
〔請求記号 081.2/33Dア/127b(1) - (7) (大学図・開架)〕
2. マッチ売りの少女：改版／アンデルセン著 矢崎源九郎訳 新潮社 1989
〔請求記号 Shincho/ア 1/4 (大学図・開架)〕
3. 絵のない絵本／アンデルセン著 大畑末吉訳 岩波書店 1953
〔請求記号 081.2/33D/754a (大学図・開架)〕
4. 絵のない絵本／アンデルセン著 大畑末吉、宮野悦義訳注 郁文堂 1964
〔請求記号 949.7/12 (大学図・開架)〕
5. 絵のない絵本／アンデルセン著 矢崎源九郎訳 新潮社 1987
〔請求記号 Shincho/ア 1/1 (大学図・開架)〕
6. おやゆび姫／アンデルセン著 山室静訳 新潮社 1967
〔請求記号 Shincho/ア 1/3 (大学図・開架)〕
7. 人魚の姫／アンデルセン著 矢崎源九郎訳 新潮社 1989
〔請求記号 Shincho/ア 1/2 (大学図・開架)〕
8. 明治期アンデルセン童話翻訳集／川戸道昭 榊原貴教編集
ナダ出版センター 1999 〔請求記号 949.7/11/1 - 5 (女大図・開架)〕
9. 女學雑誌／複製版 臨川書店〔所蔵巻号 100-101 所蔵年 1888 (女大図・書庫)〕

☆小説、紀行作品☆

10. アンデルセン自伝：わが生涯の物語／大畑末吉訳 岩波書店 1981
〔請求記号 949.7/10 (大学図・書庫)〕
11. 徒歩旅行 影絵／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳 東京書籍 1986
(アンデルセン小説・紀行文学全集) 〔請求記号 949.7/13/1 (大学図・書庫)〕
12. 即興詩人／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳 東京書籍 1986
(アンデルセン小説・紀行文学全集) 〔請求記号 949.7/13/2 (大学図・書庫)〕

☆ キーワード②「ユーモアという塩」 ☆—————**

「私の物語におけるユーモアとは、料理にひと味加える『塩』のようなものだ」この言葉はアンデルセン自身が自らの作品について述べたものです。どんな物語にもユーモアを見ることはできますが彼はそれを塩と表現しました。料理を食べる側がその塩加減を量ることは難しいのと同様、彼の物語におけるユーモアを量ることは難しいかもしれませんがそのような視点をから彼の物語を読むのも面白いかもしれませんね。

**—————☆☆

13. O. T. : 苦悩の烙印／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳
東京書籍 1986 (アンデルセン小説・紀行文学全集)
〔請求記号 949.7/13/3 (大学図・書庫)〕
14. ただのヴァイオリン弾き／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳
東京書籍 1986 (アンデルセン小説・紀行文学全集)
〔請求記号 949.7/13/4 (大学図・書庫)〕
15. 絵のない絵本 幸せもののピーア／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳
東京書籍 1986(アンデルセン小説・紀行文学全集)
〔請求記号 949.7/13/5 (大学図・書庫)〕
16. 一詩人のバザール／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳 東京書籍 1986
(アンデルセン小説・紀行文学全集) 〔請求記号 949.7/13/6 (大学図・書庫)〕
17. 二人の男爵夫人／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳 東京書籍 1986
(アンデルセン小説・紀行文学全集) 〔請求記号 949.7/13/7 (大学図・書庫)〕
18. スウェーデン紀行 ディケンズ訪問紀 ポルトガル紀行／デンマーク王立国語国
文学会編 鈴木徹郎訳 東京書籍 1986(アンデルセン小説・紀行文学全集)
〔請求記号 949.7/13/8(大学図・書庫)〕
19. 生きるべきか死ぬべきか／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳
東京書籍 1986(アンデルセン小説・紀行文学全集)
〔請求記号 949.7/13/8(大学図・書庫)〕
20. スペイン紀行／デンマーク王立国語国文学会編 鈴木徹郎訳 東京書籍 1986
(アンデルセン小説・紀行文学全集) 〔請求記号 949.7/13/8(大学図・書庫)〕

☆アンデルセンをより知りたい方は☆

21. アンデルセンください:デンマークとオランダ・ベルギー／ひらいたかこ
磯田和一著 東京創元社 1988 〔請求記号 293/H64//K (法経・開架)〕
22. アンデルセン研究 / 日本児童文学会編 小峰書店 1969
〔請求記号 949.7/1 (大学図・書庫)〕
23. アンデルセン生涯と作品／エリアス・ブレスドーフ著 高橋洋一訳 小学館 1982
〔請求記号 949.7/11 (大学図・書庫)〕
24. アンデルセン童話の深層 : 作品と生いたちの分析／森省二著 創元社 1988
〔請求記号 949.7/14 ア (大学図・書庫)〕

25. アンデルセンの研究／平林広人著 東海大学出版会 1967
〔請求記号 949.7/8 (大学図・書庫)〕
26. アンデルセンの塩: 物語に隠されたユーモアとは／ヨハネス・ミュレヘーヴェ
著 大塚絢子訳 新評論 2005 〔請求記号 949.7/23 (大学図・開架)〕
27. アンデルセンの時代／早野勝巳著 東海大学出版会 1991
〔請求記号 949.7/15 ア (大学図・書庫)〕
28. アンデルセンの「詩と真実」／藤代幸一著 法政大学出版局 2002
〔請求記号 949.7/20 (大学図・開架)〕
29. ハンス・クリスチャン・アンデルセン:その虚像と実像／鈴木徹郎著
東京書籍 1979 〔請求記号 949.7/7 (大学図・書庫)〕
30. 絵本とは違いすぎる原典アンデルセン童話／浦山明俊著 ぶんか社 1999
〔請求記号 949.7/19 (大学図・開架)〕
31. ルカノール伯爵／ドン・ファン・マヌエル著 牛島信明,上田博人訳
国書刊行会 1994 〔請求記号 960.8/2/3 (大学図・開架)〕

《参考文献》

- (1) アンデルセン研究／日本児童文学会編 小峰書店 1969
- (2) アンデルセンの塩: 物語に隠されたユーモアとは／
ヨハネス・ミュレヘーヴェ著 大塚絢子訳 新評論 2005
- (3) アンデルセンの時代／早野勝巳著 東海大学出版会 1991
- (4) アンデルセン生涯と作品／エリアス・ブレスドーフ著 高橋洋一訳 小学館 1982
- (5) 絵のない絵本／アンデルセン著 大畑末吉訳 岩波書店 1953
- (6) 絵のない絵本／アンデルセン著 大畑末吉,宮野悦義訳注 郁文堂 1964
- (7) 一橋大学附属図書館／アンデルセンと「裸の王様」
<http://www.lib.hit-u.ac.jp/service/tenji/eu/andersen2005.html>
(2005年8月1日アクセス)

flog gegen die aufgehende Sonne, gegen die bläuliche Küste, wo die Krawane hingezogen war, aber er flog allein, mit Sehnsucht in der Brust, einsam flog er über die blauen, schwellenden.

白鳥は力づいておきあがり、今しも、のぼりくる太陽のほうへ、空の隊商が飛んで行った青くかすむ海岸をさして飛び立ちました。ただひとり、胸にあこがれをいだいて飛んでゆきました。ふくらみあがる青い波をこえて、さびしく飛んでゆきました。

引用資料

独語：アンデルセン．”第28夜”．絵のない絵本．郁文堂，1964 p.119

和訳：アンデルセン．”第28夜”．絵のない絵本．岩波書店，1953 p.85

☆——☆——☆——☆——☆——☆

「ハンス・クリスチャン・アンデルセン 一生誕 200 周年」

学習院大学図書館 8 月—9 月展示

平成 17 年 8 月 1 日発行

担当：運用課 米田